



国では、経済・社会・環境の三側面の取組を通してSDGsを推進する地域を、SDGs未来都市に選定しています。燕市は、人材の活躍やDX、脱炭素社会への対応などを促進するため、産業史料館の機能を強化し、若者・地域・企業が互いに繋がるためのプラットフォームを構築する取組を提案し、令和6年度にSDGs未来都市に選定されました。なお、提案した計画では第3次燕市総合計画を推進していくことで、SDGsの達成を目指すこととしています。

活気ある産業の振興（経済面）

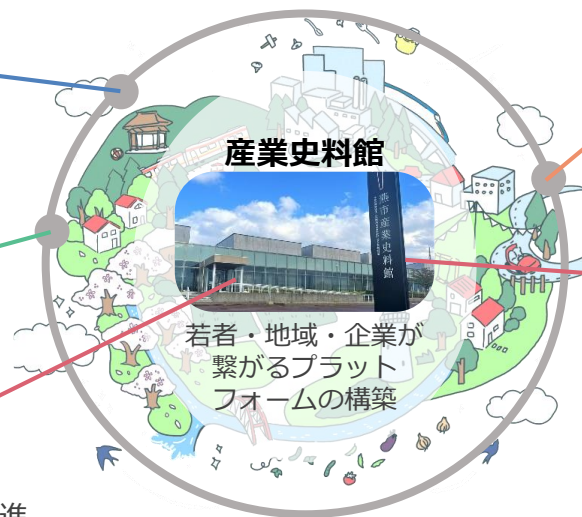
- 多様な人材の活躍促進
- 生産性向上と高付加価値の推進
- 企業誘致・事業創出の促進

カーボンニュートラルへの対応（環境面）

- 4R活動とごみの適正処理の推進
- 省エネ活動や再生可能エネルギー活用の推進

繋がる仕組みづくり（モデル事業）

- 企業、職人による実践的ワークショップ
- デジタル機材を活用した新しいものづくりを促進



次代の燕を担う人材の育成とUターン促進（社会面）

- 次代を担う人材の育成
- 若者と企業・地域との接点の創出
- 産業観光の推進と移住定住の促進

集う場づくり（モデル事業）

- 産業史料館（土蔵）をリノベーション
- 3Dプリンター等のデジタル機材導入
- 若者・地域・企業が繋がるプラットフォーム構築

令和6年度 モデル事業全体事業費 **21,992千円**
(うち交付金15,758千円)

R6年度の取組実績

■ 市内企業によるWS「夏休み企画 わくわく社長大作戦!!」

- ・ ものづくりを通じて、子どもが社長となり起業や経営プロセスを体験するワークショップを実施。

親子向けWS参加者：10人（親子5組）

■ プロモーション動画制作「燕市×私の卒業 たからもの」

- ・ SDGs未来都市である燕市の目指す未来像を知ってもらうため、燕市を舞台にしたオリジナルドラマ仕立てのプロモーション動画を制作。

■ 産業史料館土蔵の改修とデジタル機材の導入

- ・ 産地の新たな魅力発信の場所として、古民家を活用した地域再生の実績がある建築士カール・ベクス氏の協力のもと、土蔵（旧工芸館）をリニューアル。
- ・ 体験工房館に3Dプリンター等のデジタル機材を導入。



【参考】R7年度取組内容

■ 産業史料館の機能強化事業

- ・ 土蔵を改修したミュージアムショップを活用し、産業史料館オリジナル製品や企画展関連製品等を展示販売します。

■ 市内企業によるWS

- ・ 市内企業による、デジタル機材を活用した小中学生向けワークショップを開催し、市内企業と子ども達との接点を創出します。

■ 市内小中学生の利活用促進

- ・ 産業史料館に整備したデジタル機材等を活用し、地域の小中学生が気軽にものづくりに触れることができる場所として施設の利用促進を図ります。

SDGs未来都市計画 KPI一覧

総合計画における将来ビジョンをあるべき姿とし、その実現に向けて定めたSDGs未来都市計画のKPI(指標)一覧です。

No.	全体計画					
1	2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール、ターゲット					
	経済	基準値	R6	R7	R8	目標値(R12)
	「誰もが活躍しやすい環境づくり」への市民満足度	50.2% (R5年度)	49.0%			58.0%
	製造業付加価値額	1,301億円 (R2年度)	1,688億円 (R4年度)			1,400億円
	製造品出荷額等	3,939億円 (R2年度)	4,906億円 (R4年度)			4,300億円
	社会	基準値	R6	R7	R8	目標値(R12)
	「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童生徒の割合(小学校)	84.8% (R5年度)	87.6%			91.0%
	「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童生徒の割合(中学校)	90.5% (R5年度)	87.1%			91.0%
	「教育の充実」への市民満足度	67.0% (R5年度)	68.1%			77.0%
	観光客入込数	838,091人 (R4年度)	1,228,199人			949,000人
	「本市に住みたい」と回答した市民の割合	87.3% (R5年度)	87.4%			90.0%
	社会動態	△59人 (R5年度)	34人			△20人
	環境	基準値	R6	R7	R8	目標値(R12)
	二酸化炭素排出量	789千t-Co2 (R2年度)	814千t-Co2			594千t-Co2
	ごみの総排出量	30,594t (R4年度)	28,574t			29,700t

No.	全体計画					
2	自治体SDGsの推進に資する取組					
	経済	基準値	R6	R7	R8	目標値(R8)
	みんなが活躍できる職場環境づくり推進補助金申請件数(累計)	12件 (R4年度)	33件			50件
	クラウド型受発注システム(SFTC)導入企業数(累計)	8社 (R5年度)	9社			20社
	「若monoデザインコンペティション燕」受賞デザイン製品化数(累計)	5点 (R4年度)	5点			10点
	市内シェアオフィス利用者数(累計)	7,309人 (R3年度)	31,109人			35,000人
	市内シェアオフィス入居事業者数(累計)	67件 (R3年度)	70件			350件
	社会	基準値	R6	R7	R8	目標値(R8)
	偏差値平均50 以上教科数の増加(中学1年)	2教科 (R4年度)	0教科			8教科
	偏差値平均50 以上教科数の増加(中学2年)	1教科 (R4年度)	0教科			8教科
	インターンシップ参加者数	158人 (R4年度)	137人			200人
	つばめ若者会議プロジェクト実行数(累計)	133事業 (R4年度)	208事業			245事業
	産業史料館入館者数	19,498人 (R4年度)	24,598人			25,000人
	移住相談件数	134件 (R4年度)	165件			150件
	環境	基準値	R6	R7	R8	目標値(R8)
	清掃活動イベントの参加者数	9,648人 (R4年度)	10,923人			13,900人
	フードドライブへの寄附量(食品)	2,557kg (R4年度)	2,026kg			2,600kg
	省エネに取り組んでいる人の割合	64.7% (R5年度)	66.70%			67.0%
	SDGs(カーボンニュートラル)実践事業者登録事業者数(累計)	19社 (R4年度)	111社			100社

No.	自治体SDGsモデル事業					
3	三側面の取組					
	経済	基準値	R6	R7	R8	目標値(R8)
	「誰もが活躍しやすい環境づくり」への市民満足度	50.2% (R5年度)	49.0%			53.50%
	製造業付加価値額	1,301億円 (R2年度)	1,688億円 (R4年度)			1,400億円
	製造品出荷額等	3,939億円 (R2年度)	4,906億円 (R4年度)			4,300億円
	社会	基準値	R6	R7	R8	目標値(R8)
	「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童生徒の割合(小学校)	84.8% (R5年度)	87.6%			90.0%
	「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童生徒の割合(中学校)	90.5% (R5年度)	87.1%			90.0%
	「教育の充実」への市民満足度	67.0% (R5年度)	68.1%			71.2%
	観光客入込数	838,091人 (R4年度)	1,228,199人			893,545人
	「本市に住み続けたい」と回答した市民の割合	87.3% (R5年度)	87.4%			88.0%
	社会動態	△59人 (R5年度)	34人			△30人
	環境	基準値	R6	R7	R8	目標値(R8)
	二酸化炭素排出量	789千t-Co2 (R2年度)	814千t-Co2			700千t-Co2
	ごみの総排出量	30,594t (R4年度)	28,574t			30,400t

No.	自治体SDGsモデル事業							
4	三側面をつなぐ総合的な取組							
	経済⇒		環境	基準値	R6	R7	R8	目標値(R8)
	SDGs(カーボンニュートラル等)促進事業補助金交付決定件数(累計)			8社 (R4年度)	21社			40社
	経済⇒		社会	基準値	R6	R7	R8	目標値(R8)
	産業史料館入館者数			19,498人 (R4年度)	24,598人			25,000人
	社会⇒		経済	基準値	R6	R7	R8	目標値(R8)
	巻公共職業安定所管内有効求人倍率			1.46 (R5年12月)	1.42 (R7年3月)			1.40
	社会⇒		環境	基準値	R6	R7	R8	目標値(R8)
	清掃活動イベントの参加者数			9,648人 (R4年度)	10,923人			13,900人
	省エネに取り組んでいる人の割合			64.7% (R5年度)	66.7%			67.0%
	環境⇒		経済	基準値	R6	R7	R8	目標値(R8)
	SDGs(カーボンニュートラル)実践事業者登録事業者数(累計)			19社 (R4年度)	111社			100社
	環境⇒		社会	基準値	R6	R7	R8	目標値(R8)
	市民活動団体の登録数(累計)			78団体 (R4年度)	87団体			82団体